

# 出土品カード 01 HP 版

出土遺跡：タテチョウ遺跡（松江市西川津町）

遺物名：人形代（ひとかたしろ）<sup>※1</sup>

長さ：28.8 cm 幅：5.3 cm 厚さ：0.5 cm

墨で人物が描かれた板状木製品です。奈良から平安時代の河跡から出土しました。深衣（しんい）<sup>※2</sup>のようなゆったりとした着物をまとった人物が描かれています。

この人形代の性格は、礼拝や鑑賞の対象も考えられますが、人物の右胸に径 0.3 cm の木釘が貫通していることから、描かれた人物を呪う目的で使用された呪詛（じゅそ）札の可能性も考えられます。



※1 人の形をかたどったもの。または禊（みそぎ）、祈祷（きとう）のときに用いる形代。

※2 古代中国の制服の一つ。役人などが夕方に着用するもの。